

豊田市の幹線道路網整備に関する要望書

しなやかで魅力あふれる産業中枢都市 豊田市

国道155号
豊田南バイパス

令和8年度
全線開通【予定】



令和7年11月
豊田市幹線道路整備促進協議会



我が国は、頻発する自然災害や甚大な被害が想定される大規模地震、埼玉県八潮市の道路陥没事故等にみる老朽化したインフラの保全等の課題に直面しており、防災・減災、国土強靭化の着実な推進や交通の安全・安心の確保等により、国民の生命・財産・暮らしを守り抜く必要があります。また、米国による関税措置等の外的環境が変化する中でも、持続的な経済成長に向けて、生産性の向上等に寄与する戦略的な社会資本整備、DX等を推進するとともに、地方創生2.0や国土計画の実現に資する地域活性化やまちづくりの推進等に取り組む必要があります。

世界をリードする産業中枢都市である本市においても、自動車産業を取り巻く環境が激しく変化する中で、産業中枢都市としてこれまで以上に日本経済を牽引し強靭な国内経済基盤を構築するためには、産業拠点を国内にしっかりと定着させ、生産性の向上や国際競争力の強化などストック効果を最大化し波及効果の大きいプロジェクト等を展開することが不可欠です。さらに、南海トラフ地震等の大規模地震の切迫や加速化するインフラ施設の老朽化などの様々な課題を背景に、防災・減災が主流となる安心・安全な社会の構築が必要です。

これらを進めるうえで、道路は持続的な経済成長を支えるとともに、市民の命と暮らしを守り抜き未曾有の危機を克服する重要な社会基盤であることから、引き続き強靭で効率的な人流・物流を実現する道路ネットワークの構築、予防保全型インフラメンテナンス及びDX等の推進などの防災・減災、国土強靭化の強力な推進、通学路等の交通安全対策を積極的に進めていく必要があります。

このような状況を踏まえ、下記の事項について特段の配慮をよろしくお願いいたします。

- 1 国内投資拡大や生産性向上につながる幹線道路ネットワークの整備について、計画的かつ着実に推進すること**
特に、国道155号豊田南バイパスについては、令和8年度の全線開通に向けてより一層推進するとともに、一体的に効果を発揮する国道153号豊田北バイパスについても、計画的かつ着実に推進すること
- 2 強靭で効率的な人流・物流を支え、地方創生を実現する幹線道路ネットワークの整備について、特に、国道153号伊勢神改良を計画的かつ着実に推進すること**
- 3 第1次国土強靭化実施中期計画に基づく対策を切れ目なく着実に推進するため、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で満額確保すること**
- 4 道路整備・管理に対する地方の切実なニーズを十分に踏まえ、新たな財源の創設等により、令和8年度道路関係予算は、資材価格や人件費などの高騰も加味した上で、所要額を満額確保すること**
また、国土強靭化や我が国の成長力・国際競争力強化に資する道路整備事業の令和7年度補正予算を速やかに編成すること



国道155号豊田南バイパス・国道153号豊田北バイパス【直轄】

～経済発展の基盤となる
強靭な道路ネットワーク整備～

- 国際競争力強化や国内外の人流・物流を支えるネットワークの形成
- 切迫する巨大災害に対し、強靭な経済社会活動の基盤を形成

凡 例

- 高規格道路
- 一般国道
- 一般有料道路
- 部品工場
- 組立工場

【拡大図】

【拡大範囲】

新車両工場予定地

至 西芸新工業団地

豊田厚生病院

産業秀尊エリア

産業秀尊エリア

豊田勘八IC

419

155

153

市街地エリア

鞍ヶ池スマートIC

南バイパス開通で約16分短縮

豊田北バイパス

豊田南バイパス

豊田IC

301

248

155

419

302

366

1

完成車

名豊道路

23

247

248

23

衣浦港

名古屋港

三河港

豊田松平IC

豊田IC

豊田DCI

トヨタ本社 トヨタ記念病院

※南北BP短縮時間は豊田市にて算出
※南北BP短縮時間はトヨタ自動車㈱にて算出

南北BP隣接エリアにトヨタ新工場
2030年代初頭の稼働を目指す

自動車関連企業の声

関連工場及びICへのアクセス性の高い南北BPに隣接して工場を新設することで生産性が高まる。国内生産300万台体制を維持し、自動車産業のさらなる発展の実現のために、南北バイパスの1日でも早い開通に期待。
(R.9企業ヒアリング)

高まる地域の期待と関心

県内の大学・専門学校3校の学生約100名が現場見学に参加しました。

【南バイパス現場見学会】

【拡大図】

主要な幹線道路が中心市街地を通過

外環状線内側に主要渋滞箇所が集中

主要渋滞箇所約半数の30箇所が外環状線内側

豊田市 63

岡崎市 60

豊橋市 57

一宮市 34

▲愛知県内（名古屋市除く）主要渋滞箇所数

低い時間信頼性

11分 約19分の時間ばらつき 30分

▲現道区間の所要時間割合

災害時の迂回ルートの確保が必要

消防本部 市役所

矢作川破堤時の市中心部

企業や市民の生産性や効率性を向上

市街地を迂回し 東名と東海環状を直結

主要渋滞箇所の解消に寄与

物流の速達性・定時性の向上を実現

平常時・災害時を問わない強靭な命綱

浸水エリアを回避した 強靭な緊急輸送道路ネットワークを形成

第3次救急医療施設への15分圏域が拡大

現況 +5.4万人 整備後 +10.1万人 +15.5万人

：第3次救急医療施設15分圏域（整備前）
：拡大する15分圏域

N

猿投公園

豊田厚生病院 災害拠点病院

西部体育館 地域内輸送拠点 救助活動拠点

豊田勘八IC

豊田IC 浸水エリア

豊田厚生病院 第3次救急医療施設

トヨタ記念病院 第3次救急医療施設

【南バイパス現場見学会】



国道153号 伊勢神改良【直轄】

～強靭で効率的な人流・物流を支え、
地方創生を実現する道路ネットワーク整備～

- 人やモノの安心・安全な移動を実現する「命の道」
- 交流のセントラルハブとしてリニア駅を核とした広域観光交流圏を形成

凡 例
高規格道路
一般国道
一般有料道路
リニア中央新幹線



国道153号周辺の主要観光地



【拡大図】



重点「道の駅」 どんぐりの里いなぶ



県内唯一の異常気象時通行規制区間

※1 直轄国道に限る
※2 連続雨量150mm



令和5年6月の豪雨で
約10時間に及ぶ
通行止めが発生！



※1 中部地方整備局管内
※2 H=3.5mを超える車両通行不可

管内唯一の高さ制限区間

大型車は中央線をはみ出して走行！

広域危険物輸送の唯一のルートを確保

重要物流道路の信頼性や安全性を向上



国道153号が
唯一のルート！
116台/日（平日）
が通行※

※【出典】H22.2名古屋国道事務所調査

□ 安定したエネルギー供給により生産性を向上

『地域住民の命を守る』足助病院への唯一の道

第2次、第3次救急医療施設へのアクセス性向上



▲ 稲武地区の高齢化率と救急出動件数

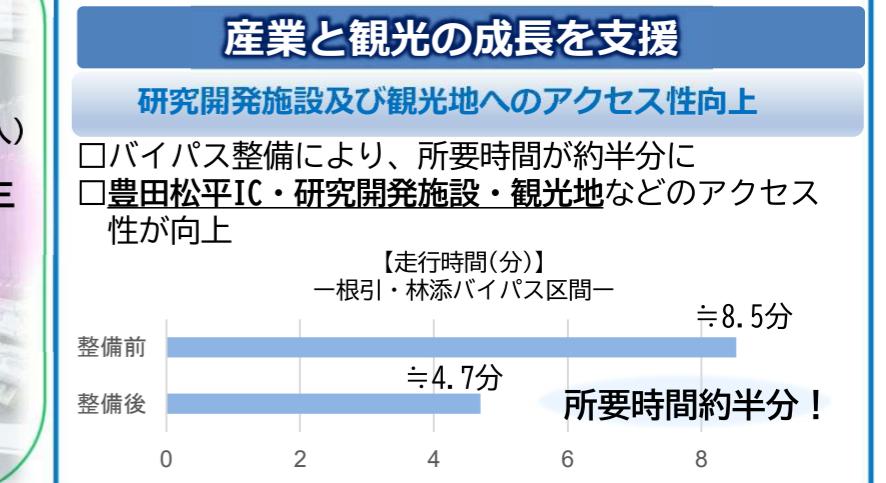
【出典】愛知県消防年報、とよたの消防、Web統計とよたより作成

□ 異常気象時通行規制や急カーブ・急勾配が解消
⇒ 「命の道」が安全で確実な搬送を実現



国道301号 根引・林添バイパス【県事業】～人・モノ・技術の交流と結合を実現する道路整備～

- 最先端の研究開発施設を支援し、国の基幹産業である自動車産業の更なる発展を実現
- 安心・安全な山村地域の実現に必要不可欠な道路ネットワークを形成

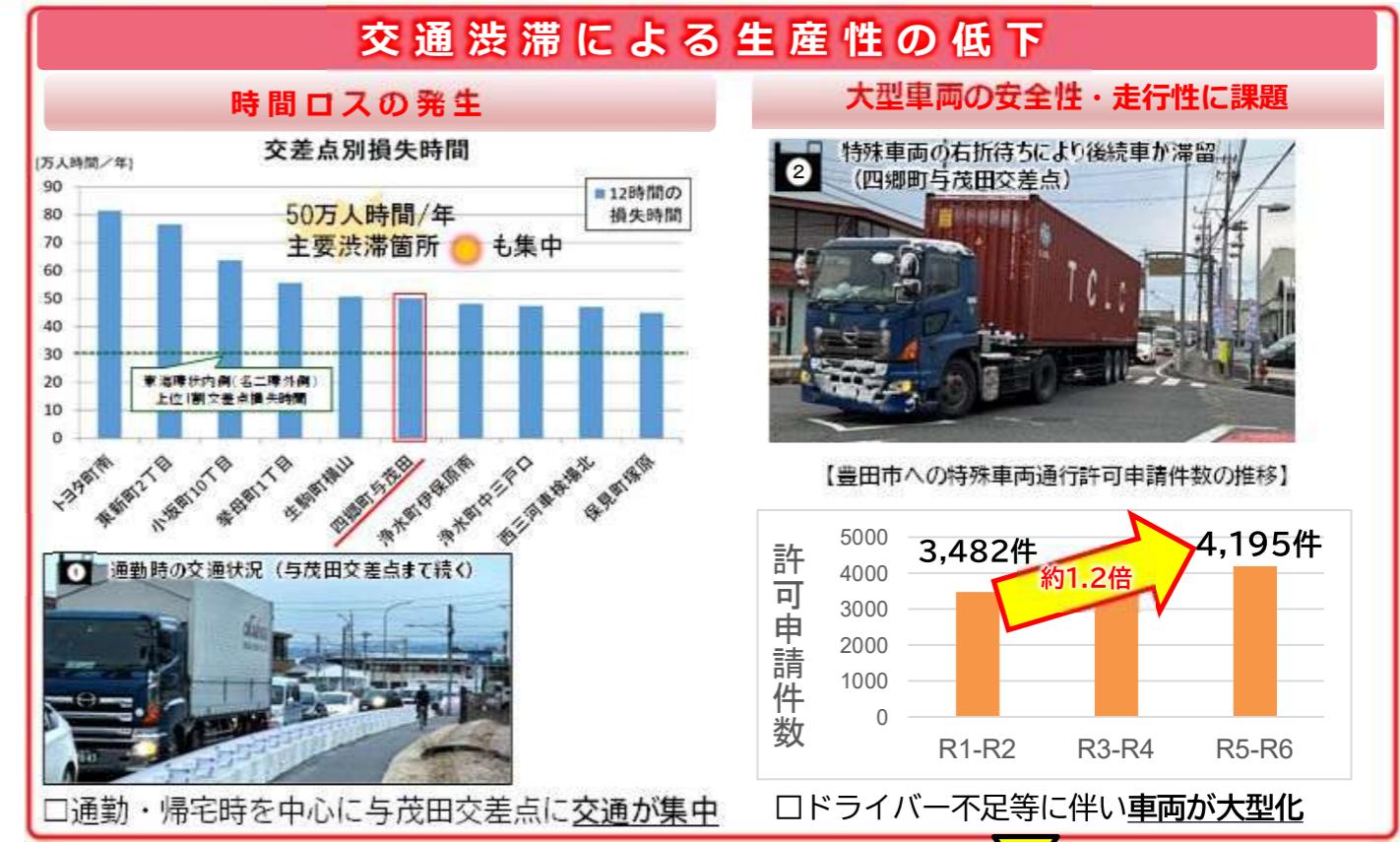
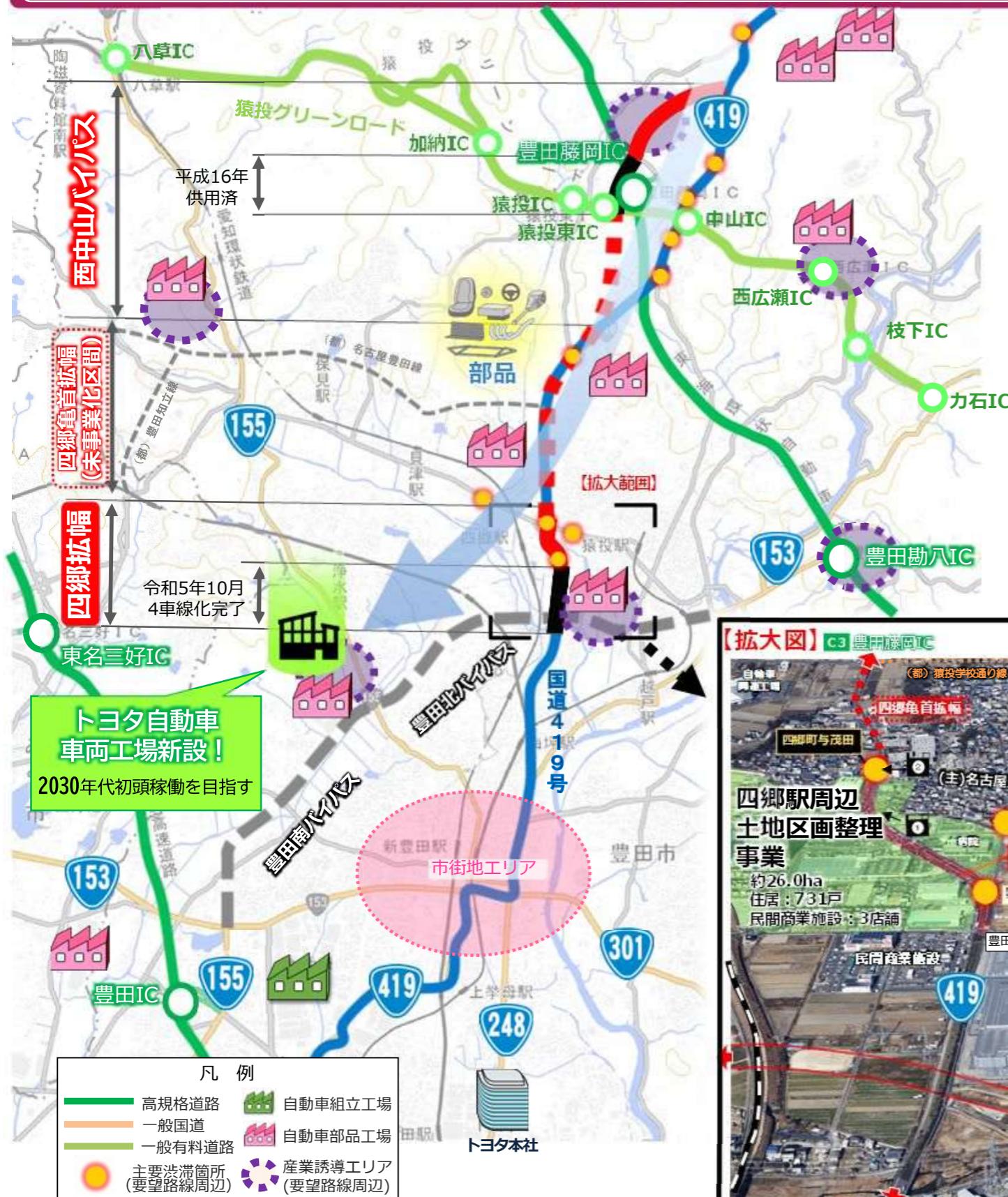




国道419号 四郷拡幅【県事業】

～持続可能な都市の発展を実現する道路整備～

- 産業拠点とICへのアクセス性向上によるサプライチェーンの強靭化
 - 4車線化整備により民間投資需要が増大するなどストック効果を発現



(都) 豊田刈谷線 宮上知立線バイパス【県事業】

~ものづくり産業の基盤を支え
高規格道路へのアクセス

- 部品工場集積地と組立工場集積地を結ぶ、強靭なサプライチェーンを形成
- 円滑な移動を確保し、物流の効率化や安心・安全な道路交通の実現



安心・安全な道路空間の構築

日本の未来を担う子ども達の安心・安全を守るために、地域の実状に応じた通学路等の**交通安全対策の強化・推進**が必要です。



国道153号 交通安全対策 歩道整備事業 (直轄事業)



名古屋圏と三河山間部を結び、恵那山トンネルを回避する危険物積載車両の代替路線である国道153号において、歩道整備により歩行者等の安全性を向上

早期整備を要望



国道153号 電線共同溝事業 豊田小坂町電線共同溝(直轄事業)



豊田南バイパス～豊田市中心市街地間で、無電柱化により安全で快適な歩行空間の確保や電柱倒壊による都市災害の防止を図る

早期整備を要望

災害に屈しない強靭なまちづくり

災害脆弱性とインフラ老朽化を克服した安心・安全な社会を構築するため、防災・減災、国土強靭化の切れ目ない推進に向けた予算の確保が必要です。

持続可能なインフラマネジメント実現のための予算の確保

豊田市が管理する主要な道路インフラ

道路管理延長	: 約2,590km	愛知県下 第2位
橋りょう	: 約1,200橋	愛知県下 第3位
横断歩道橋	: 41橋	愛知県下 第1位

愛知県下トップクラスの道路施設管理数



建設後50年を経過した橋りょう数の推移

20年後には80%以上の橋りょうが50年を経過

戦略的な予防保全型メンテナンスの推進

デジタル化の推進 (新技術の活用による施設の点検・診断)

道路パトロールの高度化・省力化



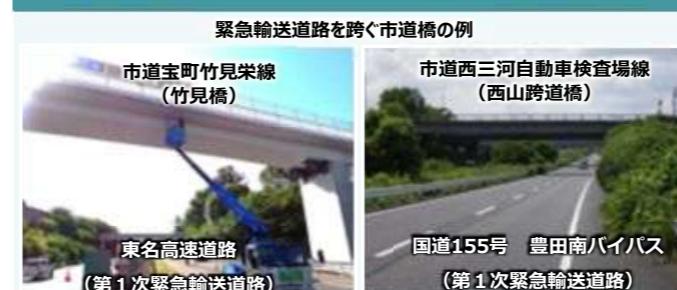
新技術活用による橋りょう等の点検



災害リスクに強いまちの実現のための予算の確保

事前防災による輸送ルートの確保

緊急輸送道路などの重要道路を跨ぐ橋を重点的に予防保全を実施



緊急輸送道路における無電柱化を推進



豊田市の幹線道路網整備等に関する要望路線【位置図】(参考)



令和7年11月10日

豊田市幹線道路整備促進協議会

会長 豊田市長
太田 稔彦

豊田市議会議長
北川 敏崇

豊田商工会議所会頭
杉原 功一